

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDF ファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

学校名	熊本大学大学院	個人・グループ名	坂本大輔	作品名	工具箱
-----	---------	----------	------	-----	-----



**○ 製作した動機**  
 これまで製作するときは大学の工具を使用していたが, 今後もものづくり活動を続けて行きたいので, のこぎりやげんなどの自分用の工具を購入した。そこで, 工具をきれいに整理・収納するためと, 木材加工技術のさらなる向上のために工具箱を製作した。

**○ 利用方法**  
 木材加工で使用する工具類を収納する。

**○ 特徴・工夫点**

- ・材料にはスギ材と合板を主に使用した。
- ・横の寸法を600mmとすることで, のこぎりも刃を取り外さずに収納することができる。(図1)
- ・内部は2段構造になっており, 上段にのみや釘などの小さい工具を, 下段にのこぎりやかんな, げんなどの大きい工具を入れることができる。(図1, 図2)
- ・上段の底板は側板にレールとストッパーをつけることで, ずれないようにしている。(図1, 図2)
- ・上段はさらに整理がしやすいように, のみ用の箱と小物用の箱を製作した。これら2つの箱は廃棄されていた箱を元に, 寸法を縮めるなどして製作したことで, 廃材の有効活用を図った。(図3, 図4)
- ・取っ手の部分は, 手が滑らないように, 内側を少し削った。(図5)
- ・接合は釘接合だが, 釘が見えないようにダボによる隠し釘を行った。(図5)
- ・ふたは横にスライドさせることで, ロックがかかるようにしている。
- ・塗装はオイルフィニッシュを行った。



図1



図2



図3



図4



図5